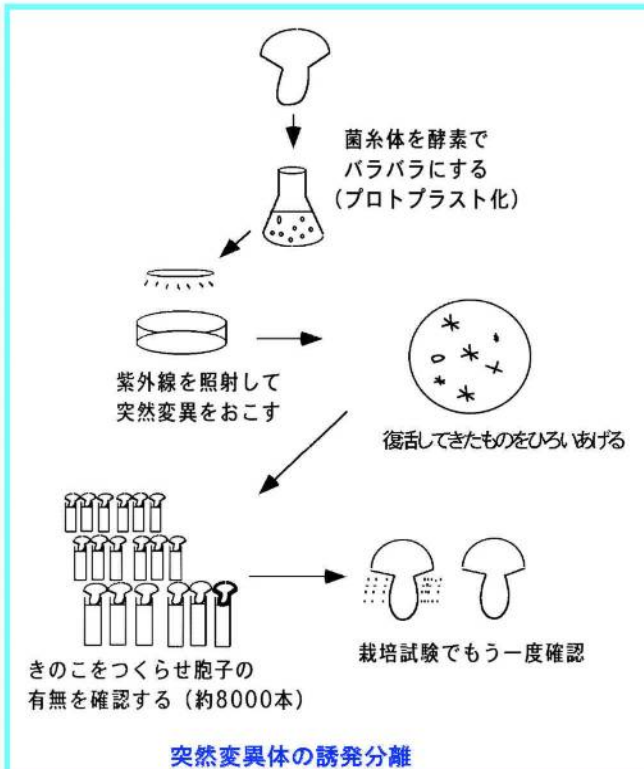


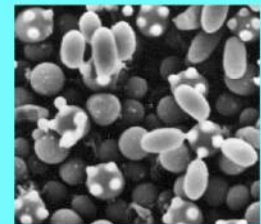
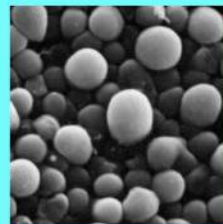
# 胞子をつくらないエリンギの開発

きのこの胞子飛散によりおこる問題

- ・ 施設や機械の汚染
- ・ 働く人の健康障害（胞子アレルギー）
- ・ 商品価値の低下
- ・ 特定種の生態系への拡散



左：無胞子エリンギ 右：普通のエリンギ  
白い胞子が落下している



ヒダの拡大図

左：胞子が全く無い 右：楕円形の胞子がある



無胞子エリンギ変異株（胞子なし）

交雑



栽培品種（胞子あり）



（全て胞子なし）

胞子をつくらない性質は優性発現し、他の品種を無胞子に改変できる。

今後さらに、

- ・ 実用的栽培品種の育成
- ・ 胞子欠損変異の解明
- ・ 他のきのこへの応用



労働環境と生態系多様性維持に配慮したきのこ生産システムの実現

この研究は財団法人日本きのこセンター菌茸研究所と共同で行いました。